第11回 南部地区街づくり協議会

日時: 平成29年2月6日 14時00分

場所:天理市役所4F 特別会議室

- 1. 開 会
- 2. 市長あいさつ
- 3. 議事
 - ○地区内及び市内における取組みについて
 - ・天理ブランド「めぐみ・めぐる・てんり」
 - ・地域農産物の新たな販売ルートの確立
 - ・第1回黒塚古墳分科会の実施報告
 - ○地域生活支援について
 - ・長柄運動公園における健康づくりの取組み
 - ・買い物支援に関する方向性及び調査
 - ○周辺拠点施設について
 - 奈良県国際芸術家村
 - ・新たな天理駅前広場
- 4. 次回の日程
- 5. 閉 会

【添付資料】

P1 天理の柿沖縄進出促進プロジェクト

P2~5 第1回黒塚古墳周辺エリア検討会 意見内容

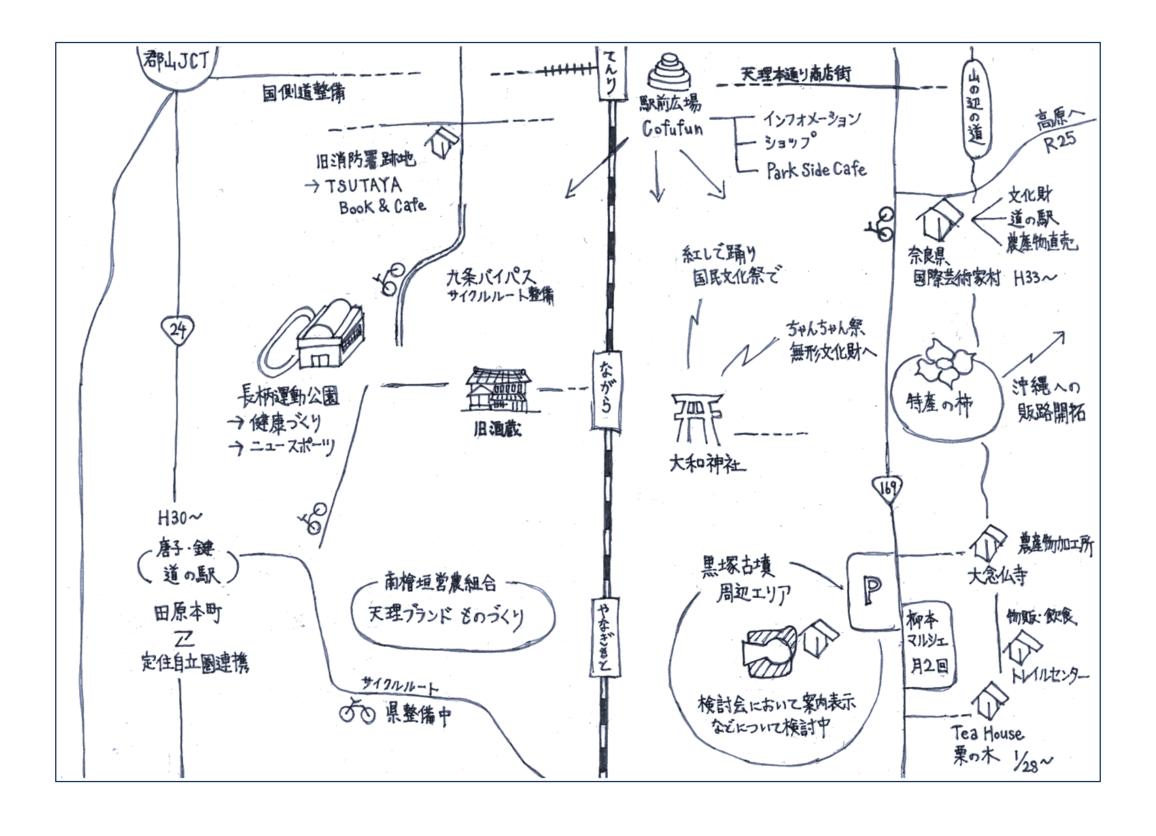
P6 長柄運動公園健康ウォーキング促進事業

P7 ならコープ取組み連携と方向性

P8~11 奈良県国際芸術家村関連資料

P12~23 平成 29 年 4 月 天理駅前広場が変わります

別紙 天理市内の取組みと連携について



天理の「柿」沖縄進出促進プロジェクト ~マーケットイン OKINAWA~

全国 16位

1. 背景/目的

- (1)農業所得の増加に向けた県外への市場開拓 天理市産のPR促進
- (2) 沖縄県での柿生産量と消費量のギャップ
 - ・生産量(H27年):統計上は ()(ゼロ)
 - 消費量(H27年):1人あたり4.53個/年間
 - → 沖縄では、柿は 好まれる フルーツ。

3. 実 施

OJAグループ/JAおきなわファーマース・マーケット との連携

JAならけんグループ

【卸会社】大和茶販売(株)を仲介した取組

【小売店】JAおきなわファーマーズマーケットでの販売



牛産者



大和茶 うまんちゅ市場 販売(株) あがりはま市場 菜々色畑



消費者

【実績】 3店舗

60ケース



出組み

づくりを

販売写真 H28.11月中旬

1. 生産者と消費者との流通経路 の支援

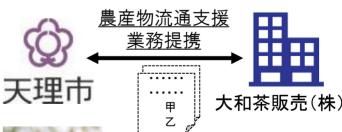
※食材卸業者へのアプローチ方法 小売店への

消費者



4. 今後の展開(案)

1. 天理市農産物を継続的・安定的に 供給するための特定流通支援







第1回黒塚古墳周辺エリア検討会 意見内容

開催日:11月28日(金)18時~20時半

場 所:柳本公民館会議室

参加者:別紙名簿のとおり

- < エリアの強み・魅力 >
- ○やはり本物の三角縁神獣鏡が出土したことと、出土当時の様子が再現された**展示館**がすぐ隣にあることは強みではないか。
- ○柳灯会は魅力から言えばもっと広げていくこともできるのではないか。例 えば、商工会の桜祭りと連携して、昼の部と夜の部の2部構成にするなど。
- ○黒塚古墳は墳丘に登ることができるので、○○の聖地等、何か**付加価値**を 付けて人を呼び込むことはできないか。
- ○山の辺の道のルート上としても十分立ち寄れるスポットだと思うので、ハ イカーをうまく誘導して、観光ルートに組み込むべき。
- ○実際に暮らしている方々が地域を誇りに思うことが、外から見たときに地域の魅力として映るのではないか。
- ○鏡の現物は保存処理により出土当初から見た目が変わってしまっているが、展示館のレプリカは出土時のままの姿を見ていただくことが出来る。
- ○柳本のように、街なかに普通に古墳があるというのは珍しいのではないか。 辺りのミカン山自体が古墳であるなど、日常の中に古墳がある町というの も面白いポイントだと思う。
- ○黒塚展示館の年間の入館者数は約1万5千人~2万人前後を推移しており、**県内でも比較的入館者数の多い施設**と言える。トイレが整備されていることも要因では。
- < エリアにおけるニーズとアイデア >
- ○来訪者に地域内で寄っていただく所、特に**食を提供するような場所**があれば、更に喜んでいただけるのでは。
- ○来訪者の多くが山の辺の道を目指して来られている中で、エリア内で滞在

する時間を延ばす工夫が必要。

- ○観光客が来ることで柳本町にも何かメリット見出せないか。
- ○既に黒塚古墳を知っている人や考古学ファンの方のほかに、案内を受けて 行ってみようと思う方が一定数おられるので、そういった層をしっかりキャッチできる仕掛けができれば、より多くの方々に来ていただいて魅力を 知ってもらうことが出来るのではないか
- ○事前に歴史的な価値を知った上で訪れれば、若者でもより関心を持ちやすいのでは。
- ○おそらく黒塚古墳を目指す方とそうでない方がはっきりと分かれている。 地域全体の様々な要素を P R したうえで、黒塚古墳も位置付けていかなければならない。
- ○山の辺の道ボランティアガイドの会の黒塚古墳定点ガイドからは、案内の 後に持って帰っていただく地域のお土産が無いとの意見が良く出ている。
- ○奈良フェニックス大学から、三角縁神獣鏡を模ったチョコレートを作って はどうかと提案されている。製品化や型を取るための許可等について橿原 考古学研究所にも相談し、試作する方向で進めているところ。
- ○歴史や史跡を愛好する著名な文学者の方もおられるので、**講演会等を企画** できれば我々の気がつかない視点で黒塚古墳や山の辺の道の魅力を語っ ていただけるのではないか。
- ○鏡に表現されている神獣に注目して、それぞれの意味などを丁寧に解説した展示を行えば、更に興味を持っていただけるのではないか。鏡もそうだがそこに表現されている神獣をデザインした製品なども面白いのでは。
- ○柳本だけのアピールでは弱いかもしれないが、県のサイクルルートなども 含めた**周遊観光の立ち寄り地域**として魅力を絡めていければ良い。
- ○駐車場自体が道の駅のように整備されていれば、自ずと立ち寄りが増える と思う。コンビニの敷地との間に柵があり少し入りにくい印象。

<エリア内の案内表示について>

○ JAの辺りで古墳への行き方、池の越え方を聞かれることもあるので、そ の辺りに看板があっても良いのではないか。

- ○柳本公園の入り口には商工会が昔に立てた看板が残っているが、もう 10 数年になると思う。公園に入ってもらう仕掛けが何か必要だと思う。
- ○看板が統一されておれば良いが、デザインも様々で初めて来られた方はわかりにくいだろう。例えば、すべての案内板をエリアの地図にして、現在地を表示するものに統一してはどうか。
- ○地下鉄の駅のように、路面にそれぞれの**施設への案内線**を表示するのはど うか。古墳のシンボルのようなものを順番に埋め込んで辿っていくなど。
- ○公園の入り口までの堀の柵に、黒塚古墳という文字やイメージを表示するのはどうか。何か目につくような表示があって、それを追って行くような仕掛けができれば良いと思う。
- ○黒塚古墳展示館駐車場の案内表示について、コンビニの看板等もあるので 見過ごされている方が多いのでは。車で走っていればわかりにくいと思う。 予告看板などを検討してはどうか。
- ○駐車場の看板については、**シンボル的なもの**ができればよいと思う。桜井 市が国道沿いに立てた看板は良く目立つ。ライオンズクラブによる寄贈だ と聞いている。柳本にもあのようなものができれば良いと思う。
- ○ハイカーに対して、公園の入り口までに手前から案内をしていくというの は効果的だと思う。

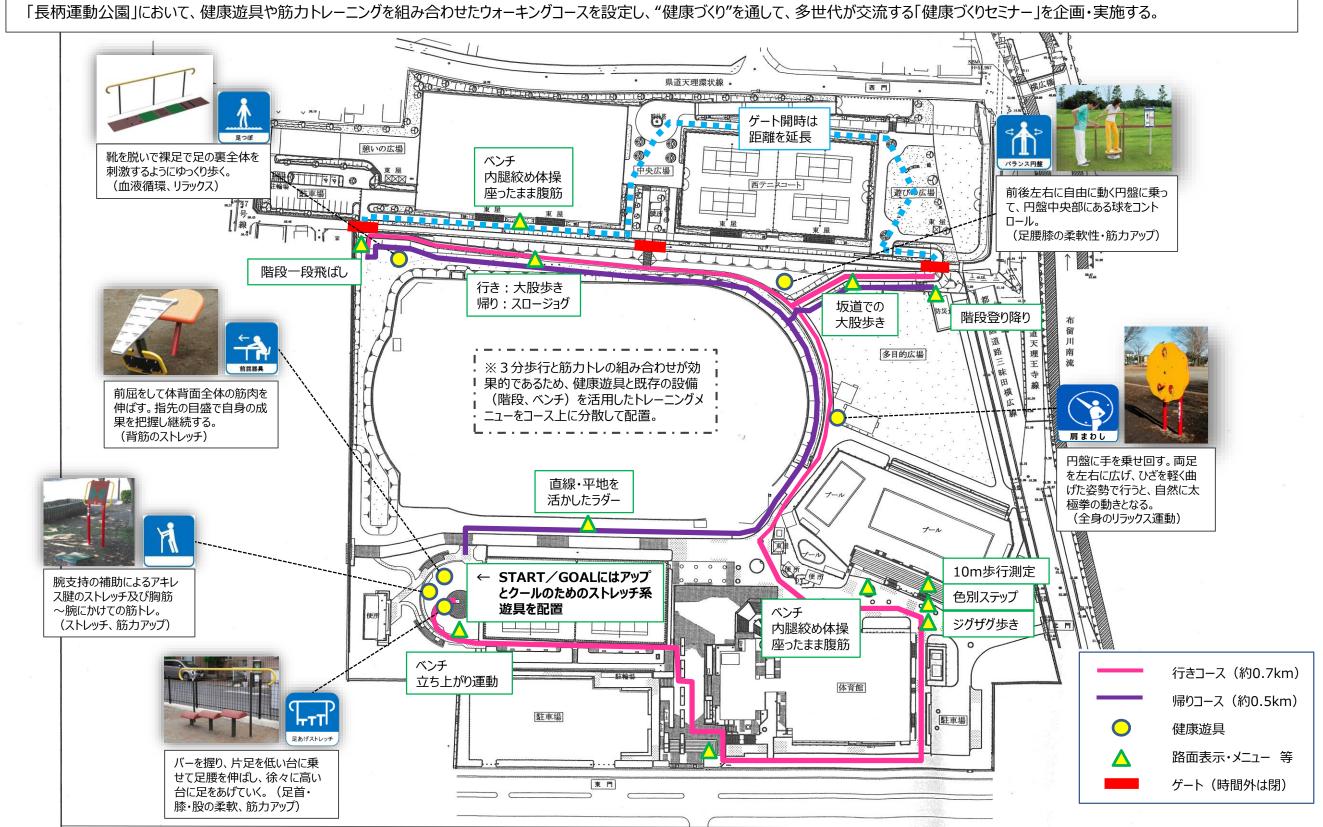
< 参考例 >





長柄運動公園 健康ウォーキング促進事業 (コース設定概要)

- ・少子高齢化により高齢者のみの世帯や単身世帯が増加し、介護予防の必要性や地域内での交流機会の減少が課題となっている。このような背景から地域の健康に対する関心は高く、朝和地区では 地域住民が健康づくりをテーマに自治会活動を展開し長柄運動公園で実施している市主催の体力測定会や健康に関するセミナー等へは多数の参加があるほか、早朝・夕刻には多くの住民がウォーキ ングに取り組んでいるところである。
- ・ウォーキングは、歩くことと併せてバランス良く体の各部の筋力を鍛えることで、より効果的な運動として広く親しんでもらうことが可能であり、気軽な運動と"健康づくり"という共通の話題を通して高齢者だけ でなく多世代が交流することで、地域の元気に繋げることができる。
- ・幅広い世代が交流をしながら気軽に自身の体力や筋力の状態を認識し、健康につながる効果的な運動方法をウォーキングを通して習得することを目的に、本市のスポーツ及び健康づくりの拠点である



朝和・柳本地区においては、地域の商店やスーパーマーケットの減少により、買い物に関する課題が以前より問題となっており、今後、更に深刻化していくことが予想されます。ついては、既に移動販売等を地域で展開をされている生活協同組合ならコープ様と連携し、買い物支援に関する取組みを実施すべく、協議を進めています。

コープあったか便移動店舗

ならコープでは2014年3月から約600品を品揃えした『コープあったか便移動店舗』の運行を奈良市、生駒市、大和郡山市、東吉野村へ開始しました。2014年度は、のべ16,190人の方にご利用いただき、店舗のない地域でより広く、ならコープの商品をご購入いただくことができるようになりました。





⇒現状、毎週金曜日の14:20~16:30の間で柳本町内3ヶ所において営業。本来は組合員が対象ですが、市と協定を結ぶことで一般の方の利用も可能。3号車導入時に、営業可能範囲内である柳本・朝和方面での展開について奈良コープと協議をしています。

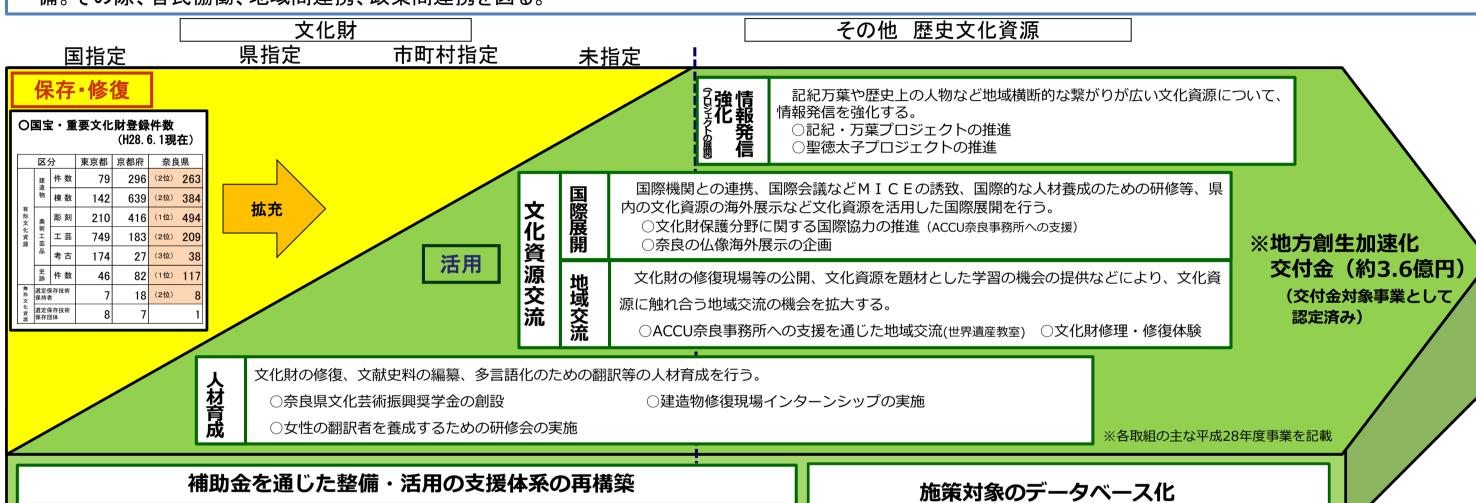
お買い物支援バスの運行

声をいただいた地域からコープおしくまへの買い物支援バスの試行運行が2014年11月29日からはじまりました。 当日は59名の組合員にご乗車いただき、「買い物に不便を感じていたから本当にありがたいです」などのお声を いただきました。2014年度内で653名にご乗車いただき、現在ではバスの運行を1日4便としています。



⇒試験的に奈良市青山地区と学園前店間を毎週土曜日5便運行中(マイクロバス29人乗り。) 現状は上記の土曜のみの運用であるため、他の曜日で柳本・長柄〜耳成店間で運行できる可能性 あり。ならコープとは試験的に運行し、集客数や反応を調査する方向で協議中。

- 本県は、国指定文化財件数が全国第3位であり、3つの世界遺産を有しているなど、「文化財」の宝庫。文化財の「保存・修復」について、市町村指定以下の「文化財」も対象となるよう支援を拡充。
- 加えて、昨年4月、地域振興部に文化資源活用課を創設。「文化財」の「保存・修復」のみならず、施策の対象を古事記・日本書紀・万葉集を始めとする文献資料、 歴史上の人物及びそれらに基づく伝承・旧跡など「歴史文化資源」全般に広げ、その「活用」施策を展開しているところ。
- 〇 ①「文化財」の「保存・修復」と②「文化財」を含む「歴史文化資源」の「活用」に係る施策を総合的・一体的に展開する拠点として、奈良県版の国際芸術家村を整備。その際、官民協働、地域間連携、政策間連携を図る。



地方創生推進交付金(申請中) 地方創生拠点整備交付金(申請予定)

(仮称) 奈良県国際芸術家村

拠点を整備

県文化財保存事務所及び天理市文化財課の移転等 県の既存の文化施設等と連携

> 文化財を含む歴史文化資源の修復・活用の拠点

- ・県文化財保存事務所等の移転及び選定保存技術保存団体等の誘致
- ・記紀・万葉プロジェクトをはじめとするプロジェクトの展開

> 文化資源交流の拠点

- ・ACCUとの連携による国際会議などMICEの誘致、国際的な人材養成研修
- ・学術会議、フォーラム、シンポジウム等、大学等のセミナーハウスとしての活用
- ・文化財の修復現場の公開など地域住民や来訪者が歴史文化資源と触れ合う学習・ 体験・研究の場の提供

▶ 人材育成の拠点

・文化財修復技術の伝承、翻刻者・翻訳者の養成など

○官民協働

管理・運営等の検討のため、官民の関係者で構成する協議会を設置

一地域間連携

候補地自治体(天理市)との連携(市埋蔵文化財センターの移転、芸術フェスタの開催)

○政策間連携

まちづくり、産業(農業、伝統工芸)、観光、福祉、教育等との連携

○必要な施設

文化財修動を設、人材育成・教育研究を設、セミナー・講座室、長期滞在・合宿を設、展示即売所レストラン・宿泊を設、農産物直売所・加工所、道の駅・駐車場、サイクルステーション

拠点施設を活用した良質な イベント等の充実



(仮称)奈良県国際芸術家村における必要施設の機能(案)について

平成28年11月9日 奈良県国際芸術家村構想等検討委員会

- 〇 (仮称)国際芸術家村において、歴史文化資源の修復・活用、文化資源交流、人材育成の拠点づくりに当たっては、観光(周遊観光等)、産業(農業、伝統工芸)、まちづくり(道の駅)など幅広い分野への波及を視野に政策間連携を図りながら、地域経済における好循環の実現を目指す。
- 上記の拠点化等を図るために必要な施設と機能、規模について、現段階では他府県の類似施設等を参考に以下のとおり検討。

土教育や家族の憩いの場等として活用。

○ 今後、実施設計等を経て規模等の詳細を決定予定。

〈参考〉民設民営ホテル

施設名称	機能(案)	規模(案)
①文化財修復•展示棟	・県文化財保存事務所、天理市文化財課の移転、選定保存技術保存団体等を誘致することにより、伝統技術の継承と後継者を育成。 ・文化財修復作業の公開・解説や仏像等のハンズオン展示、埋蔵文化財発掘体験のコーディネートなど県民や来訪者が歴史文化資源に触れ会う機会を提供。	約10, 000㎡ 程度
②複合棟	・ACCUとの連携による国際会議などMICEの誘致、国際的な人材養成研修を展開。 ・歴史文化資源を題材にした学術会議、フォーラム、シンポジウム等を開催。 ・天理市と連携し、文化・芸術の創作活動や関連イベントを開催。	
③情報提供施設 (道の駅)、トイレ	・道の駅の利用者に歴史文化資源の魅力に触れてもらえるよう、周辺地域等の観光案内や地域の特産品の紹介などを実施。 ・(仮称)国際芸術家村を県内各地への歴史文化資源の周遊観光などの活動拠点として活用。	
④農村交流施設	・農産物直売所において新鮮な野菜や特産品の販売により地域の活性化を促進。 ・農産物の加工所において地元産品を活用した手作り加工品を製造・販売。 ・農家レストランにおいて奈良の食材を活かした「食」の創造と発信。 ・「食」と「農」の魅力を活用した伝統食品の加工講習や郷土料理教室などを実施するためイベント・体験スペースを設置。	
⑤伝統工芸施設	・伝統工芸品の展示即売と新たな創作活動につながる様々な企画展示を実施。 ・体験型ワークショップや製作実演・体験を実施。	
⑥サイクルステーション	・天理市内に整備予定の農村周遊自転車ルートと連結。自転車による新たな人の流れに対応。	
⑦屋外体験施設	・就学前から小学生のこどもを対象にした発掘体験や遺跡を模したアスレチック場等を設置。郷 +教育や家族の顔いの場等として活用	東側丘陵部分

・当該拠点づくりにより地域の魅力を高め、交流人口や県内消費を増加させるため民設民営ホテルの公募を検討。

(仮称)奈良県国際芸術家村における施設配置(案)について

〇 (仮称)奈良県国際芸術家村の各施設の特徴等を踏まえ、現時点では以下の配置を検討。

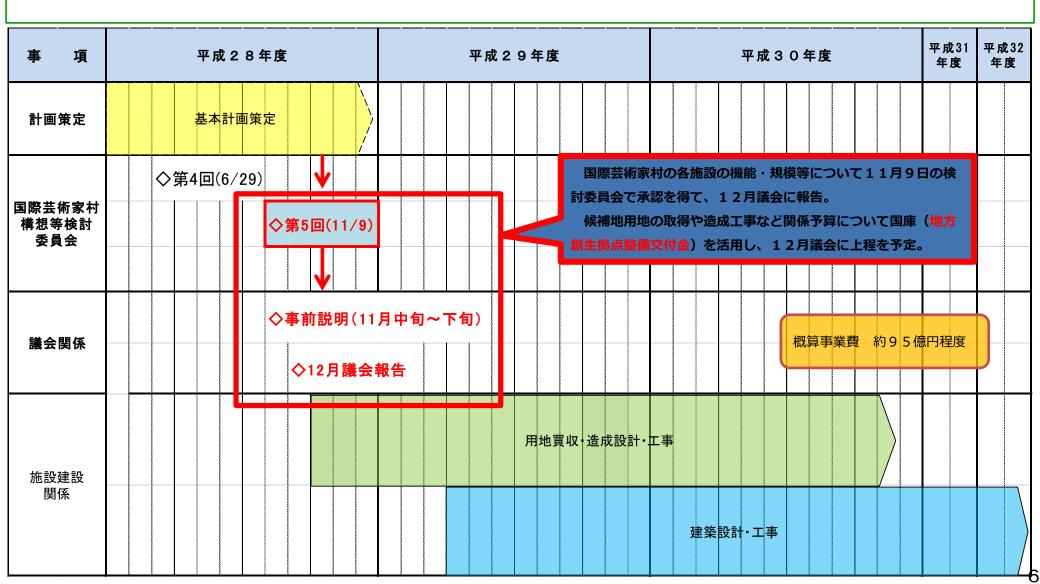






(仮称)奈良県国際芸術家村整備スケジュール(案)について

- 〇 (仮称)奈良県国際芸術家村については、今年度基本計画を策定後、造成や建築の設計・工事に取り組み、平成32年度中の完成を目指す。
- 〇 現時点の概算事業費は約95億円程度を想定。今後、実施設計等を経て規模等の詳細を決定し、事業費を精査。



平成 29 年 4 月 天理駅前広場が変わります

食と農

このまちの「豊かさ」を まちの元気につなげる にきわいづくりの拠点として が遊び

子育で

健康

モノづくり

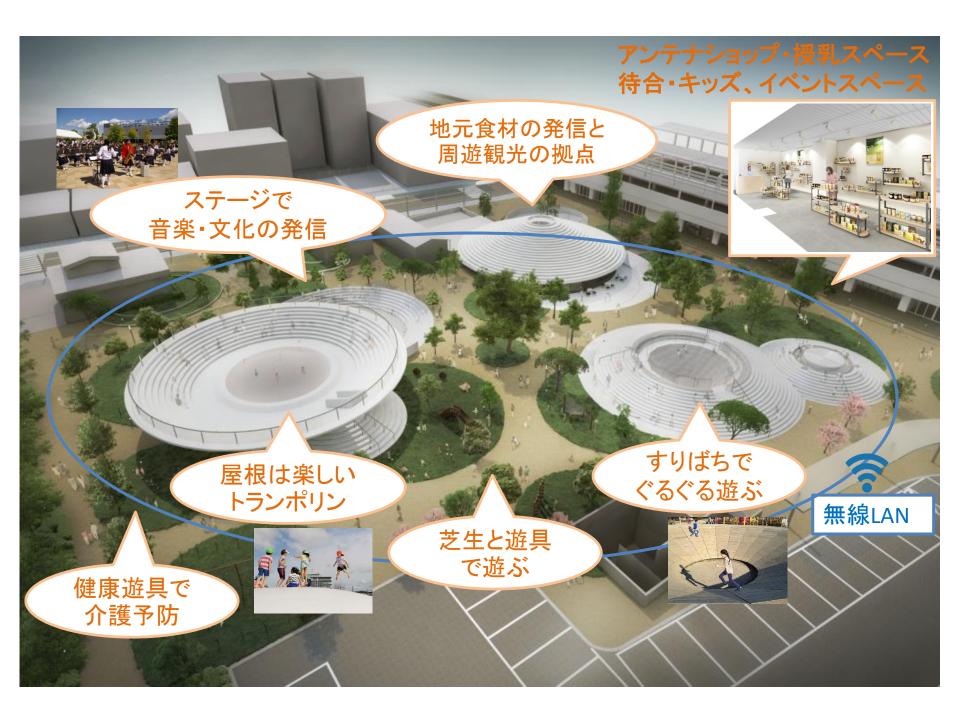
スポーツ

多世代交流

周遊観光

特産品

音楽·文化











イベントステージ

イベントを行うときにステージとなるスペース。 プロジェクターやスピーカーなどの機器も用意。 カーテンにより仕切れ、閉じられた空間となるだけでなく、 音環境にも配慮したスペース。



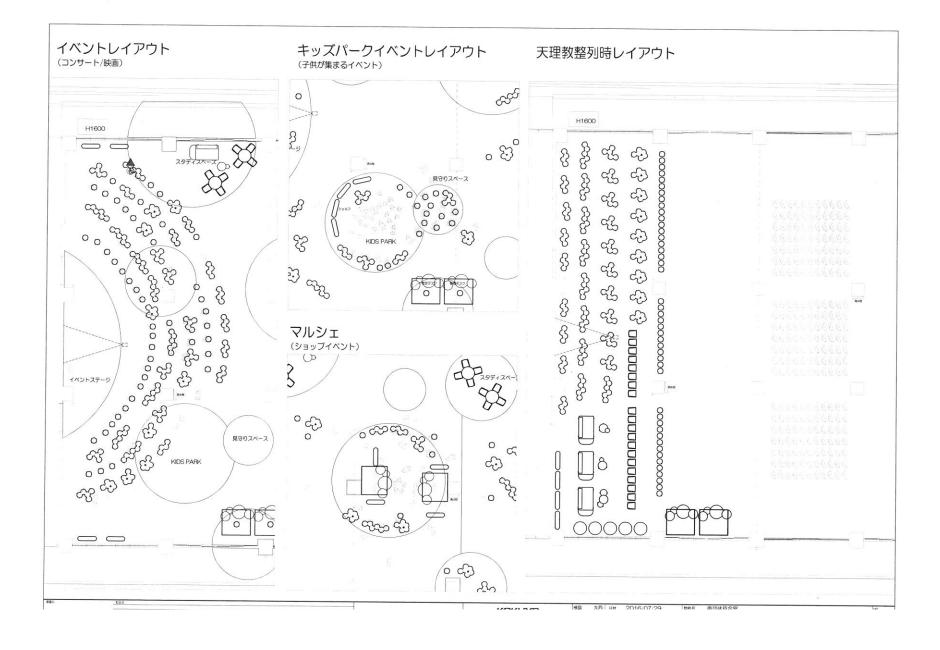
BOOKワゴンも常設されたキッズスペース。 床は人工芝となり、子供たちが座ったり、 寝転んだりも可能。

カーテンで仕切ってのイベントも可能。

見守スペース

キッズスペース横の見守りスペース。 子供の様子を見守りながら親同士での コミュニケーションが取れるスペース。 この施設の管理者の常駐スペース。 可動式のオフィスワゴンで構成され、移動も可能。 セキュリティに配慮したワゴンを設置。





天理ステーション ストア

授乳室、オムツ替え 室、キッズスペース

